

- 名称: ITU-T Focus Group on Disaster Relief Systems, Network Resilience and Recovery (FG-DR&NRR) (※本資料では、便宜上、FG災害と表記)
- 開催時期: 2013年2月5日(火)、6日(水)、7日(木)
- 開催場所: 東京:新宿京王プラザホテル(予定)
- 参加規模: 約30名(予定)
- FGの目的
 - ・東日本大震災を契機とした災害救援、ネットワーク回復の標準化検討
 - ・ITU-Tおよび他団体における関連の既存標準文書、既存活動の特定
 - ・ITU-Tにおける今後の活動の特定 等

●マネジメント体制

- ・議長: **荒木 則幸 (NTT、日本)**: SG15 ラポータ(光ケーブル網の保守運用)
- ・副議長: Mr. Ramesh K. Siddhartha (インド政府)
Mr. Leo Lehmann (スイス政府): SG13副議長
江川 尚志 (NEC): SG13ラポータ(将来網)
TTCの災害対応WPIリーダー
- ・事務局: 太田 宏 (TSB)

●会合開催スケジュール

- 第1回会合: 2012/6/25~27、ジュネーブ (ワークショップを併設)
- 第2回会合: 2012/9/24~26、ジュネーブ
- 第3回会合: 2012/12/11-13、イスタンブール(トルコ) (ワークショップを併設)
- **第4回会合: 2013/2/5~7、東京**
- 第5回会合: 2013年5月、バンコク(タイ)
- 第6回会合: 時期未定、チリなどが候補

e-HealthワークショップとFG災害の日程案

- ・ITU-D・ITU-T合e-Healthワークショップを2日開催し、その後、FG災害を並行して開催することにより、会議室の確保の容易性および費用負担を最小限に抑えることを考慮する。
- ・仙台への見学対応については、移動手段(バス、新幹線)、仙台での見学先(被災地、NICT)など詳細を検討する必要がある。

日程	2月4日(月)	5日(火)	6日(水)	7日(木)	8日(金)	9日(土)
e-Healthワークショップ	東京開催 約100名					
FG-DR&NRR (FG災害)		東京開催 約30名			仙台への 見学対応 約20名	

開催場所: 京王プラザホテル(新宿)

【参考】FG-DR&NRR (FG災害)の概要

【背景】2011年10月のITU-T CTO会議で、東日本大震災での通信関係の災害対応の経験からKDDIがITU-Tでの緊急通報を含む災害対応の検討の必要性を示し、ITU-T局長がFG設立の検討を示唆した。これを受け、2012年1月のTSAG会合でITU-T局長が提案し、日本（総務省）がサポートしてFG設立が合意された。名称は、Focus Group on Disaster Relief Systems and Network Resilience and Recovery。

FG-DR&NRRのToR

○スコープ

- ・災害救援、ネットワーク回復に関する要求条件の特定
- ・既存の標準文書、既存の活動の特定
- ・ITU-Tにおける今後の活動の特定
- ・ITU-TのSG間(特にSG2,5,11,13,15,16,17)、およびITU-R,ITU-D、関連する組織との連携強化

○目的：以下の文書化

- ・通信およびICTから見た災害救助システムとアプリケーション
- ・災害に対応するネットワーク回復力、復旧力の向上策

○親グループ

- ・TSAG

以下のトピックを考慮

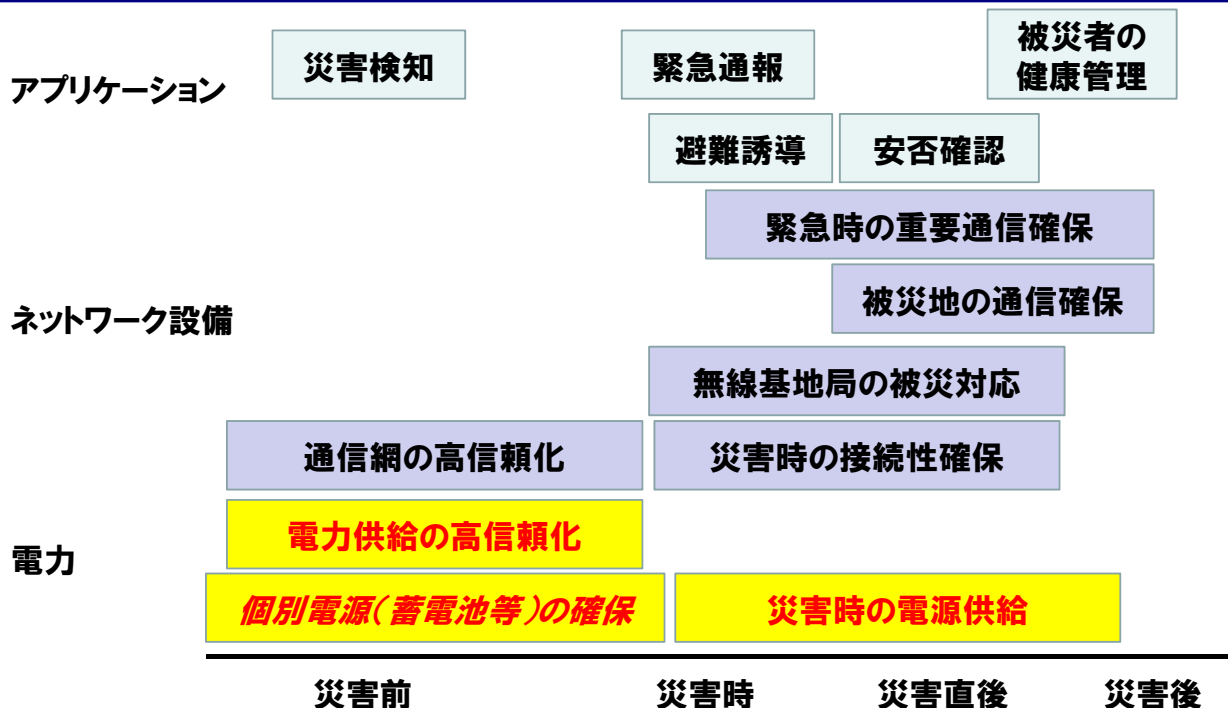
- 個人の災害救援（被災者の近親者への被害状況通知）
- 災害救助ガイドライン（避難ルートの誘導）
- 緊急災害通知、緊急通信
- 災害時の電力供給（移動網のBSなど）

FG-DR&NRRの想定される成果

- 1) 災害救援、ネットワーク回復に関する標準化団体、フォーラム等のリスト
- 2) ITU-Tにおける検討エリアの特定と新しいアイデアの創出
- 3) サービスユースケース、参照モデル
- 4) 用語定義
- 5) 通信網に対する要求機能と能力 (QoS/QoE, セキュリティ, 信頼性を含む)
- 6) 通信網に対する標準のギャップ分析
- 7) 将来の関連するITU-T勧告のロードマップ

【参考】FG-DR&NRRの検討領域(案)

下記の検討領域を示す図をOverview文書におけるスタートポイントの俯瞰図とすることが合意された。電力やネットワーク等のインフラ関連や、避難誘導などのアプリケーション分野まで広範な検討項目が考えられる。



【参考】FG災害の出力文書 (Deliverable)

- (1) **Overviews**
- (2) **Definitions, terminology and classification**
- (3) **Use case**
- (4) **Gap analysis**
- (5) **Requirement documents for disaster relief and network resilience and recovery**

FG-DR&NRRの想定される成果

- 1) 災害救援、ネットワーク回復に関する標準化団体、フォーラム等のリスト
- 2) ITU-Tにおける検討エリアの特定と新しいアイデアの創出
- 3) サービスユースケース、参照モデル
- 4) 用語定義
- 5) 通信網に対する要求機能と能力(QoS/QoE,セキュリティ、信頼性を含む)
- 6) 通信網に対する標準のギャップ分析
- 7) 将来の関連するITU-T勧告のロードマップ